



芸術監督だより

～第15回定期演奏会に寄せて～

コンサートのプログラムを決める時、いろいろのことを考えます。

個人のリサイタルからオーケストラの演目まで様々ですが、その演奏者の適正を考え、コンサートの流れを考え、演奏会場、聴衆を念頭に決めていきます。

OMURA室内合奏団の場合は、団員の希望も参考にしています。

第15回定期演奏会にはバッハ、モーツアルト、ベートーベンと偉大な作曲家3人が並びました。クリスマスに近いこともあり、華やかさを加味して、フルートの濱砂由美子と永留結花の2人にオーケストラから飛び出して、仲間達の演奏をバックに松原勝也さんのヴァイオリンとプランデンブルグ協奏曲第4番を共演します。OMURA室内合奏団初めてのスタイルです。

プランデンブルグ協奏曲といえば、私にはとても懐かしい思い出があります。東京・カザルスホールのオープニングシリーズで、今は亡きアレクサンダー・シュナイダー率いる、

プランデンブルグ・アンサンブルが、アメリカからやってきて全曲演奏しました。またその時カザルスホールでデビューした相沢吏江子が13才でこのアンサンブルとモーツアルトのピアノ協奏曲第12番を共演、シュナイダーさんに認められて、現在もニューヨークを中心に活躍しています。

モーツアルトの“リンク”とベートーベンの“英雄”、さて、どちらがお好き？ 聴き比べる良いチャンスです。楽譜を書くのが間に合わないくらい曲想に溢れていた天才型モーツアルトと、考えに考えて作曲したであろうベートーベンの作品、優劣を決められるものではありませんが。

来年は設立10周年を迎えるOMURA室内合奏団ですが、ここまで頑張ってこられたのは団員はもとより、応援してくださる皆様があればこそと、心から感謝いたしております。NPO法人にもなり、10年目が正念場と思っておりますが、このユニークな合奏団の継続に変わらぬお力添えをいただきますよう切にお願いいたします次第です。

村嶋 寿深子

OMURA室内合奏団 第15回定期演奏会

日時 12月21日(金) 19時開演 (18時30分開場)

会場 シーハットおおむら・さくらホール

料金 [全席指定] 大人3,500円、高校生以下1,000円 ※当日各500円増

※未就学児入場不可。託児をご利用ください。／1名1,000円(乳児除く。公演1週間前までに電話予約)

●チケットのご予約・お問合せはシーハットおおむら事業部まで♪ (tel.0957-20-7207)

OMURA室内合奏団 第15回定期演奏会

～定期演奏会でソリストを務めるフルートの2人からみなさまへ～



濱砂 由美子

Hamasuna Yumiko

フルートを始めて29年。その間数々の幸運な出会いがありここまで続けて来る事が出来ました。OMURAのメンバーに支えられ、大切なお客様に見守られ、バッハに挑むチャンスを頂けた事。精一杯表現したいと思います。



永留 結花

Nagatome Yuka

今回、憧れの協奏曲を演奏させて頂ける事になり身の引き締まる想いであります。バッハがケーテン時代、妃に音楽の素敵さを知ってもらうために心を尽くして作ったこの作品。私も皆様へのクリスマスプレゼントになりますよう精一杯演奏いたします。

コンサートマスターの2人より交響曲のご紹介です。

◎モーツアルト／交響曲第36番ハ長調KV425《リンク》



中西 弾

この交響曲は、1783年にモーツアルトがザルツブルクからウィーンへ帰る途中にリンクを訪れ、その時にリンクのトゥン伯爵の依頼で書いたものですが、曲の特徴として1楽章の冒頭にAdagioの莊重な部分が置かれています。

モーツアルトがこのようなスタイルを用いたのはこの曲が最初のようですが、私個人の感覚としてはこのAdagioの莊重な感じ、緊張感をうまく表現できるとその後のAllegroの開放感や躍動感がとても心地よく感じます。

それに続く優しさあふれる2楽章、エレガントで遊び心のある3楽章、疾走感のある4楽章。

全楽章を通して演奏すると、まるで1つのコース料理を食べているような、内湯に入ってサウナ行って水風呂入って露天に行くような、ビールから焼酎って最後ラーメンでシメるような・・・

これはあくまでも個人的な感覚ですが、聴いて下さる方々にも1つの作品の中にある様々な色や味を楽しんでいただければと思います。

みなさま是非聴きに来て下さい！！

◎ベートーヴェン／交響曲第3番変ホ長調Op.55《英雄》



藤木 修爾

私がOMURA室内合奏団のコンサートマスターを務めるようになり、はや一年半が経とうとしていますが、その期間だけでも、芸術監督の情熱とアーティスティックアドバイザーからの的確な助言により、弦楽器群としての音の纏り方は安定してきているように思います。

今回の英雄は、その弦楽器の特徴が良く活かされ、弦楽器としての色々な役割を堪能できるものと思っています。

特に第二楽章、葬送行進曲での弦楽器主体による濃密なアンサンブルの要求される場面では、この合奏団の成長とともに、合奏団としての音の魅力を十分に伝えられるものと思っております。

この秋も合奏団のメンバーが県内各地で演奏をお届けしました。

「島の夢飛行コンサート」壱岐編

● 池田 文子

壱岐・対馬・五島の3カ所で演奏させて頂く「ORCプレゼンツしまの夢飛行コンサート」 第一弾として9月末、壱岐に行って参りました。さて出発の時、オリエンタルエアブリッジでは離着陸のとき♪夢飛行♪という、とても爽やかな、そしてちょっと切ないヴァイオリンの曲が流れます。実はこの曲、合奏団のはにかみ王子 ことコンサートマスター中西弾さんの自作自演の曲んですよ！

今回の演奏者メンバー女性6名で「なかなかいい曲じゃん！」なんて話しているうちにあっという間に壱岐へ到着。

壱岐では弦楽カルテットにクラリネット、ファゴットを加えての3公

演でしたが、お年寄りの方から小さな子供達までたくさんの方に御来場頂きました。

クラリネットの楽器紹介でトロの歌がワンフレーズ演奏される

と、子供達が突然すごい勢いで歌い出しついに曲の終わりまで演奏するという嬉しいハプニング。またラデツキー行進曲では会場の皆さんのが手拍子で参加して下さったりでとても楽しく演奏を聞いて頂きました。



上海カルテット 結成30周年記念日本ツアー【大村公演】

● 小林 知弘

上海カルテットの皆さんと共に演奏させていただき、感動の連続と充実した時間でした。

今まで体感したことのないような室内楽の魅力に引き込まれ、たくさんのこと学ばせていただきました。

例えば、カルテットの方々がリハーサルに取り組まれる姿勢です。室内楽で繰り広げられる全ての音をどのように創り出し、互いに調和していくのか、彼等は解決するまで取り組みます。生まれてくる全ての音が、まるで彼等の言葉のようにさくらホールに広がっていました。しかし、音楽の方向性が同じ方向に進まない時は、徹底的に議論が始まります。このように一つの楽曲や音をいかに高いレベルで創り出すかという姿勢を目の当たりにして、自分自身にも新しい発見とともに多くの学びがありました。

また、チェリストの原田禎夫さんの素晴らしい音に感動しました。

上海カルテットとの五重奏では、常に音楽の色彩感を自由自在に構築し、渋いコントラバスのような音とともに、幅広さを築かれていました。

原田さんのレッスンをジュニアオーケストラのメンバーと共に弦楽四重奏で受けることが出来たことも貴重な経験です。原田さんは、レッスン中、良い音を聴いたときは、子供達をしっかりと褒めています。その言葉は、子供達にとってより輝きを増す「音の栄養分」のようになっていました。今回多くのことを学ばせていただき本当にありがとうございました。この経験を生かし、これからも励んでいきます。





第10回 団員リレートーク トランペット編



井手口博文 (トランペット)

トランペットの歴史は古く、最も原始的なトランペットは、木などで作られたストローのようなまっすぐな楽器でした。その歴史は今から約3000年も前のエジプトの絵画にも描かれています。

もともとトランペットは音楽を演奏するための楽器と言うよりは、宗教的または

軍隊や世俗的な場での合図や信号の音として使用されてきました。

19世紀初頭にバルブ装置が発明され、トランペットもバルブを取り入れることにより音域が格段に広がり、現在の形が確立されました。

トランペットの特徴といえば、華やかで勇ましく、輝かしい響きを持っており、クラシックだけではなく、幅広いジャンルで活躍しているのも最大の特徴ではないでしょうか。トランペット吹きには、目立ちたがり屋で努力を惜しまない人が多いといわれています。

私もOMURA室内合奏団を応援してくださっている皆さんに、素晴らしい響きをお届けできるように頑張っていきたいと思います。

新シリーズ

パトロネージュ 交流プラザ

会員の皆さまのいろんな声をお届けする新シリーズが始まりました。

第2回 「私と合奏団」

私たちの手元にCD等の録音された音楽があります。ラジオやテレビの放送を待たなくても、好きなときに音楽を聴くことができます。インターネットを使えば、いつでもどこでもそれが可能になりました。

17世紀のヨーロッパ王侯貴族は、音楽を楽しむために楽団を抱えていたそうですが、21世紀の今、王侯貴族でない私たちにも、その楽しみがより便利な形で提供されています。

しかしその「便利」が、音楽の楽しみ方を忙しいものにしている気がします。細切れに聞き流すのも楽しみ方の一つでしょうが、時には、再生機器を通じない「生」の音のきらびやかなそして柔らかな



永田 吉郎

(株式会社 永田会計 代表取締役)

響きに包まれ、陶然とする時を送りたい。

インターネットからひととき離れて演奏会場に足を運べば、私たちは、17世紀の王侯貴族ながら、OMURA室内合奏団の恩恵に与ることができます。地域にこんなすばらしい楽団とさくらホールがあることのありがたさに感謝して、ずっとこのすばらしさを続けてもらえるように、大切にしたいものです。

大切な手始めは、チケットを買って、聞きに行って、「とても良かったよ、次は一緒に行こうね」と友達を誘うことくらいですが、ささやかながら熱心な応援をしたいと思います。

第2回佐世保演奏会

演奏会のご案内

◎日時：2013年2月11日(月・祝) ◎会場：アルカスSASEBO 中ホール

14時開演(13時30分開場)

チケット発売

12月7日(金)

◎料金：[全席自由] 大人3,000円、高校生以下1,000円

会員優待コンサート

◎日時：2013年3月2日(土)

14時開演(13時30分開場)

◎会場：シーハットおおむら さくらホール

チケット引換

12月11日(火)より

◎料金：[全席指定] 個人会員1名様、法人会員5名様ご招待

一般2,000円

OMURA室内合奏団団員への質問、
音楽や楽器の気になる疑問!! など、
ご感想やご意見、ご質問を募集しております。

宛 先 〒856-0836 大村市幸町25-33

シーハットおおむら内「パトロネージュ通信」係

メール omurapatron@gmail.com

集後記

◎今秋はORCプレゼンツしまの夢飛行コンサートで高岐と対馬にお伺いしました(△△)今年もとっても温かい島のみなさまに囲まれて、とっても楽しくて幸せな日々でした♪また来年もお会いできますように!! (編集長 いけっち)

◎秋の音楽祭やORCの島での公演が終わり、いよいよ冬の定期に向けてカウントダウンが始まりました!年の終わりにして今年イチ☆の公演と言ってもらえるよう、はりきってます。

(副編集長 yoppo)

◎みかんの季節となりました。大村は果物がとってもおいしい。秋も梨にブドウにと堪能して、幸せです。みかんは香りも楽しめるし二重にうれしい。今度の定期演奏会は団員ソリストあり、二つの交響曲ありと二重にも三重にもお楽しみ頂けると思います。ぜひひびこ来場ください。(事務局 ま)

OMURA室内合奏団の最新情報♪ <http://ocenagasaki.blog25.fc2.com/>